

# 尼崎市提案型事業委託評価表

作成日 平成29年3月21日

事業名	防災フォーラム開催事業		
事業者の名称	一般財団法人 大阪市コミュニティ協会		
契約期間	平成28年 7月 1日 ~ 平成29年 3月31日 (1年目)		
業務の概要	平成28年度尼崎市防災セミナーの開催及び運営に関する業務		
所管課・課長名	危機管理安全局 危機管理安全部 災害対策課 大石 照男		
評価対象期間	平成28年 7月 1日 ~ 平成29年 2月28日		

評価項目	説明	評価	評価コメント
<b>1 事業の効果</b>			
市民サービス	市民サービス向上の取組がされているか	B	事業実施に当たっては、所管課と適切に打ち合わせを重ねながら、各セミナーのテーマ(事業所向け、子ども向け、家庭向け)に応じた内容を企画立案のうえ、講師の選定等も行っている。また、関係機関との連携も意識しながら取り組んでいる。
市民ニーズ	市民ニーズが的確に把握されているか		
シチズンシップ等の向上	市民のシチズンシップや団体の公共的分野を担う力の向上につながっているか		
地域経済活性化	地域経済の活性化への配慮がされているか		
経費節減等	効率化、経費節減の取組がされているか		
<b>2 事業実施状況</b>			
計画性・透明性	計画的に事業が実施され透明性が確保されているか	B	概ね事業計画書に基づき、実施している。収支状況も良好である。
収支状況	収支状況が適切かつ良好であるか		
<b>3 事業執行体制</b>			
人員配置	合理的な配置であるか	B	社内の業務マニュアルや規則等を整備しており、危機管理、情報管理体制は備えられていた。
危機管理	事故時等の体制等が整備されているか		
情報管理	個人情報等の管理が適切であるか		

<b>主に取組んでいる事業内容・進捗状況</b>
<p>・平成28年度尼崎市防災セミナーの開催・運営                  下記のとおりテーマと対象を絞り、複数回実施                  事業所向け「体験して基本が分かる！“自社目線”で考える”BCP策定セミナー”                  子ども向け「大災害！ そのとき、どうする？！ ゲームで学ぶ小学生防災教室」                  家庭向け「小さな命をまもる家庭の備え ママ・パパのための防災教室」                  については、会場を分けて2回実施。</p>

<b>取組んでいる事業内容等の評価</b>
<p>・各セミナーについては、テーマと対象に応じて、趣向を凝らした内容とする等、企画立案のうえ実施できていた。                  ・特に、子ども向けのセミナーでは、本市として初めて開催するとともに、若年層が参加しやすい防災ゲームを各種取り入れていた。                  ・また、市内の大学生に協力を得る調整を行うとともに、主体的に防災ゲームの運営を、その学生に担ってもらえたことで、子供たちに緊張感を抱かせることなく、楽しい雰囲気のもと開催・運営できた。</p>

総合評価	評価の理由、今後の課題等
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各セミナーを通して、参加者のアンケート結果は概ね好評との結果を得た。</li> <li>・関係機関との連携を意識した事業実施にも努めていた。</li> <li>・今後は、セミナー内容の充実とあわせて、より多くの参加者が得られるよう効果的な事前広報を行っていく必要がある。</li> </ul>

\* 評価は、A～Dの4段階評価とする。

\* 確認調査の結果をチェックリストに記入する。更に1～3の大項目ごとに評価を行った後、総合評価を行うこと。

\* (評価項目1) 行政実施時と比較して、A:非常に効果があった。 B:効果があった。 C:同等の実施水準であった。 D:実施水準が下がった。

\* (評価項目2,3) A:非常に良好であった。 B:良好であった。 C:やや改善の余地があった。 D:多くの改善すべき点が見受けられた。

# 尼崎市提案型事業委託評価表

作成日 平成30年3月29日

事業名	平成29年度尼崎市防災セミナー運営業務		
事業者の名称	一般財団法人 大阪市コミュニティ協会		
契約期間	平成29年 4月 1日 ~ 平成30年 3月31日 (2年目)		
業務の概要	平成29年度尼崎市防災セミナーの開催及び運営に関する業務		
所管課・課長名	災害対策課	大石 照 男	
評価対象期間	平成29年 4月 1日 ~ 平成30年 2月28日		

評価項目	説明	評価	評価コメント
<b>1 事業の効果</b>			
市民サービス	市民サービス向上の取組がされているか	<b>B</b>	事業実施に当たっては、所管課と綿密な打ち合わせを重ねながら、各セミナーのテーマ(家庭向け、子ども向け、事業所向け)ごとに、内容を企画立案のうえ、講師の選定等も行った。
市民ニーズ	市民ニーズが的確に把握されているか		
シチズンシップ等の向上	市民のシチズンシップや団体の公共的分野を担う力の向上につながっているか		
地域経済活性化	地域経済の活性化への配慮がされているか		
経費節減等	効率化、経費節減の取組がされているか		
<b>2 事業実施状況</b>			
計画性・透明性	計画的に事業が実施され透明性が確保されているか	<b>A</b>	事業計画書に基づき、セミナー運営に係る各業務を着実に実施できており、収支状況も良好であった。
収支状況	収支状況が適切かつ良好であるか		
<b>3 事業執行体制</b>			
人員配置	合理的な配置であるか	<b>B</b>	セミナー運営業務を適切に実施できていたことから、合理的な人員配置であったと言える。また、事前に危機管理体制に関するマニュアルを定める等、危機管理や情報管理体制は備えられていた。
危機管理	事故時等の体制等が整備されているか		
情報管理	個人情報等の管理が適切であるか		

<b>主に取組んでいる事業内容・進捗状況</b>
<p>・平成29年度尼崎市防災セミナーの開催・運営                  下記のとおりテーマと対象を絞り、複数回実施                  ①家庭向け「小さな命をまもる家庭の備え ママ・パパのための防災教室vol.2」                  ②子ども向け「小学生のための防災教室 ポウサイ博士と3つの手紙」※                  ③事業所向け「取り組み事例から学ぶ事業継続計画(BCP)」                  ※②については、会場を分けて2回実施。</p>

<b>取組んでいる事業内容等の評価</b>
<p>・テーマとその対象に応じて趣向を凝らした内容とする等、各セミナーの企画立案をしっかりと行い実施できていた。                  ・各セミナーの終了後には必ず、反省点等を抽出しスタッフ間で共有することに努めていた。                  ・事業の広報チラシは各セミナーの対象や内容等が伝わりやすく、参加意欲をかきたてる充実したものであった。また、広報手段にダイレクトメール通知を新たに加える等、事業広報に重点を置いて取り組んでいた。                  ・昨年度に引き続き、市内大学の学生に協力を得るとともに、家庭向けについては、女性センタートレピエと共催で実施し、男女共同参画の視点を反映した事業内容を実施した。</p>

総合評価	評価の理由、今後の課題等
<b>B</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各セミナーにおける参加者のアンケート結果は良好であった。</li> <li>・関係機関との連携も意識しながら、事業を実施していた。</li> <li>・提案型事業委託期間の最終年度となる平成30年度については、2力年の実績を踏まえ、これまで以上に市民等の具体的な防災意識の向上に寄与する内容としていく必要がある。</li> </ul>

\* 評価は、A~Dの4段階評価とする。

\* 確認調査の結果をチェックリストに記入する。更に1~3の大項目ごとに評価を行った後、総合評価を行うこと。

\* (評価項目1) 行政実施時と比較して、A:非常に効果があった。 B:効果があった。 C:同等の実施水準であった。 D:実施水準が下がった。

\* (評価項目2, 3) A:非常に良好であった。 B:良好であった。 C:やや改善の余地があった。 D:多くの改善すべき点が見受けられた。

# 尼崎市提案型事業委託評価表

提出日 平成31年3月29日

事業名	平成30年度尼崎市防災セミナー運営事業
事業者の名称	一般財団法人 大阪市コミュニティ協会
契約期間	平成30年 6月 1日 ~ 平成31年 3月 31日 (3年目)
業務の概要	平成30年度尼崎市防災セミナーの開催及び運営に関する業務
所管課・課長名	危機管理安全局 危機管理安全部 災害対策課 福田 大樹
評価対象期間	平成30年 6月 1日 ~ 平成31年 3月 31日

評価項目	説明	評価	評価コメント
<b>1 事業の効果</b>		<b>B</b>	市民ニーズが多様化しつつある防災事業において、3つのテーマでセミナーを実施することで事業効果の向上を目指すなど積極的な姿勢が見られた。また、男女共同参画の観点から尼崎市女性センター・トレピエと共催し、シチズンシップの醸成を図った
市民サービス	市民サービス向上の取組がされているか		
市民ニーズ	市民ニーズが的確に把握されているか		
シチズンシップ等の向上	市民のシチズンシップや団体の公共的分野を担う力の向上につながっているか		
地域経済活性化	地域経済の活性化への配慮がされているか		
経費節減等	効率化、経費節減の取組がされているか		
<b>2 事業実施状況</b>		<b>A</b>	事業実施に当たり、事業計画書を作成し精到に業務を遂行した。収支状況も適正であった
計画性・透明性	計画的に事業が実施され透明性が確保されているか		
収支状況	収支状況が適切かつ良好であるか		
<b>3 事業執行体制</b>		<b>B</b>	危機管理体制や個人情報などの管理について、マニュアルを整理していた。人員配置においても、適切な業務実施できており、合理的であった
人員配置	合理的な配置であるか		
危機管理	事故時等の体制等が整備されているか		
情報管理	個人情報等の管理が適切であるか		

<b>主に取組んでいる事業内容・進捗状況</b>
<p>平成30年度尼崎市防災セミナーの開催・運営                  次の通り、実施テーマと対象で焦点を合わせて効果的に業務を実施                  ▼子ども向け「みんなでいこう！BOSAI パーク～わいわい防災チャレンジ～」                  ▼家庭向け「小さな命をまもる家庭の備え—ママ・パパのための防災教室 vol.3—」                  ▼事業所向け「マネジメントの現場から学ぶ事業継続計画(BCP)」</p>

<b>取組んでいる事業内容等の評価</b>
<p>▼各セミナーの実施テーマと対象ごとに創意工夫した内容とするなど、確実に企画立案し実施した                  ▼子ども向けで「みんなの尼崎大学」▽家庭向けで「あまっこいきいきナビ」▽事業所向けで「企業へのダイレクトメール 送付」—を情報発信媒体として活用するなど効果的な事業広報を実施していた                  ▼昨年度に引き続き、女性センタートレピエと共催で実施し、男女共同参画の視点を反映した事業内容を実施した。</p>

<b>総合評価</b>	<b>評価の理由、今後の課題等</b>
<b>B</b>	<p>▼各セミナーにおける参加者のアンケート結果は良好であった                  ▼関係機関との連携も意識しながら、事業を実施していた                  ▼無関心層の掘り起こしを今後の重点課題として、「我が事」として防災に取り組める一層身近な事業内容を行っていく必要がある</p>

\* 評価は、A～Dの4段階評価とする。

\* 確認調査の結果をチェックリストに記入する。更に1～3の大項目ごとに評価を行った後、総合評価を行うこと。

\* (評価項目1) 行政実施時と比較して、A:非常に効果があった。 B:効果があった。 C:同等の実施水準であった。 D:実施水準が下がった。

\* (評価項目2, 3) A:非常に良好であった。 B:良好であった。 C:やや改善の余地があった。 D:多くの改善すべき点が見受けられた。